

2023年12月17日

各位

東京都港区六本木一丁目6番1号
SBI ウェルネスバンク株式会社

テオリアサイエンス株式会社とのエクソソームによる

がんの予防や治療法の確立を目的とした臨床研究開始について

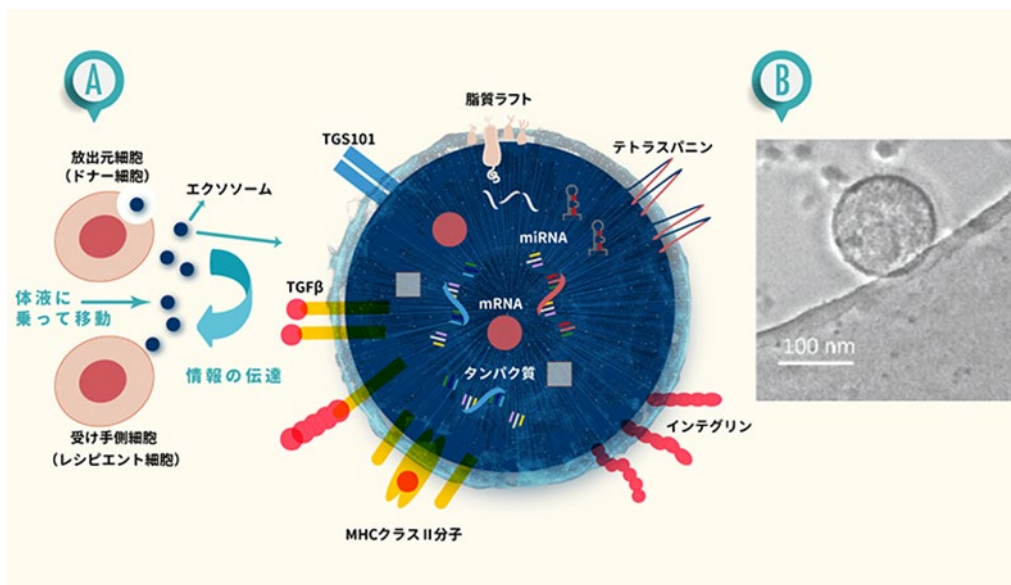
SBI ホールディングス株式会社傘下で健康管理支援サービスを提供する SBI ウェルネスバンク株式会社(本社：東京都港区、代表取締役：北尾 吉孝、瀧川 拓郎、以下「SBI ウェルネスバンク」)は、提携医療機関である、医療法人社団 T.O.P.ドクターズ 東京国際クリニック(所在地：東京都千代田区、院長：高橋 通、以下「東京国際クリニック」)が、テオリアサイエンス株式会社(本社：東京都千代田区、代表取締役：水谷 隆之、以下「テオリアサイエンス」との間で、2023年12月1日よりエクソソーム診断技術を用いたがんの予防や治療法の確立に向けた共同臨床研究を開始したことをお知らせいたします。

テオリアサイエンスは、2012年にエクソソーム(*1)研究の第一人者である東京医大医学総合研究所 未来医療研究センター 分子細胞治療研究部門 教授の落谷孝広氏を創業メンバーとして設立されました。現在では、14種のがん由来エクソソームを特定し、すい臓がんを初めとして、大腸がん、胃がん、食道がん、胆のうがん及び肝臓がんの早期診断サービスを提供しています。東京国際クリニックにおいても2022年からテオリアサイエンスの検査サービス(すい臓がん検査、消化器がん検査)を導入し、多くの患者様に受検頂いております。

今回の臨床研究では、エクソソームの測定を介して、健診から未病状態、確定診断、治療、薬剤効果判定、治療補助や予後モニターを一気通貫で行うプレジジョンメディシン(それぞれの患者にあった最適な治療を行う行為)の開発を目指しています。エクソソーム検査を通じて、患者様が健康な状態から病気を発症された時の様々な指標を発見し、最先端医療に貢献したいと考えています。

(*1)エクソソーム

エクソソームとは、細胞から分泌される細胞外小胞の一種で、直径 30~200nm ほどの脂質二重膜に包まれた顆粒であり、ヒトでは、血液や尿のほか、母乳、唾液、涙など様々な体液中に存在しています。特にがん細胞などの病態組織から分泌されるエクソソームは、疾患関連分子を包含しているため、創薬や診断薬のターゲットとして活用され、エクソソームを利用した疾患の研究や治療法の開発が期待されています。



*「落谷孝弘・吉岡祐亮編 医療を変えるエクソソーム -生体機能から疾患メカニズム、臨床応用まで- 化学同人 2018; p8,図 2.1」より改変（著作権者の承諾を得て、改変・転載）

*スケールバー: 100nm（吉岡祐亮氏提供）

【図の説明】

A：エクソソームの構造

エクソソームの構造は、小胞の膜はリン脂質二重膜からなり、テトラスパニンなどのタンパク質が存在する。内包物にはタンパク質、核酸(mRNA, miRNA)が含まれる。

B：位相差電子顕微鏡によるエクソソームの形態観察

脂肪由来間葉系幹細胞が分泌したエクソソームを超遠心法にて回収後、位相差電子顕微鏡で観察した。

SBI ウェルネスバンク株式会社の概要（2023年12月1日現在）

商号	SBI ウェルネスバンク株式会社
所在地	東京都千代田区丸の内 1-11-1 パシフィックセンチュリープレイス丸の内 9F

代表者	代表取締役会長 北尾 吉孝、 代表取締役社長 瀧川 拓郎
主な事業内容	健康管理支援サービス事業、ウェルネス関連コンサルタント事業

テオリアサイエンス株式会社の概要（2023年12月1日現在）

会社名	テオリアサイエンス株式会社
所在地	東京都千代田区神田駿河台二丁目3番10号
代表者	代表取締役 水谷 隆之
主な事業内容	エクソソームを用いたがんの診断・治療法の開発

SBI ウェルネスバンクでは、今後も健康支援を目的とした「人生を豊かにするための新しい提案」を、提携パートナーと共に行ってまいります。

本プレスリリースに関するお問い合わせ：

SBI ウェルネスバンク株式会社 営業部 03-5220-2483